

第 41 号

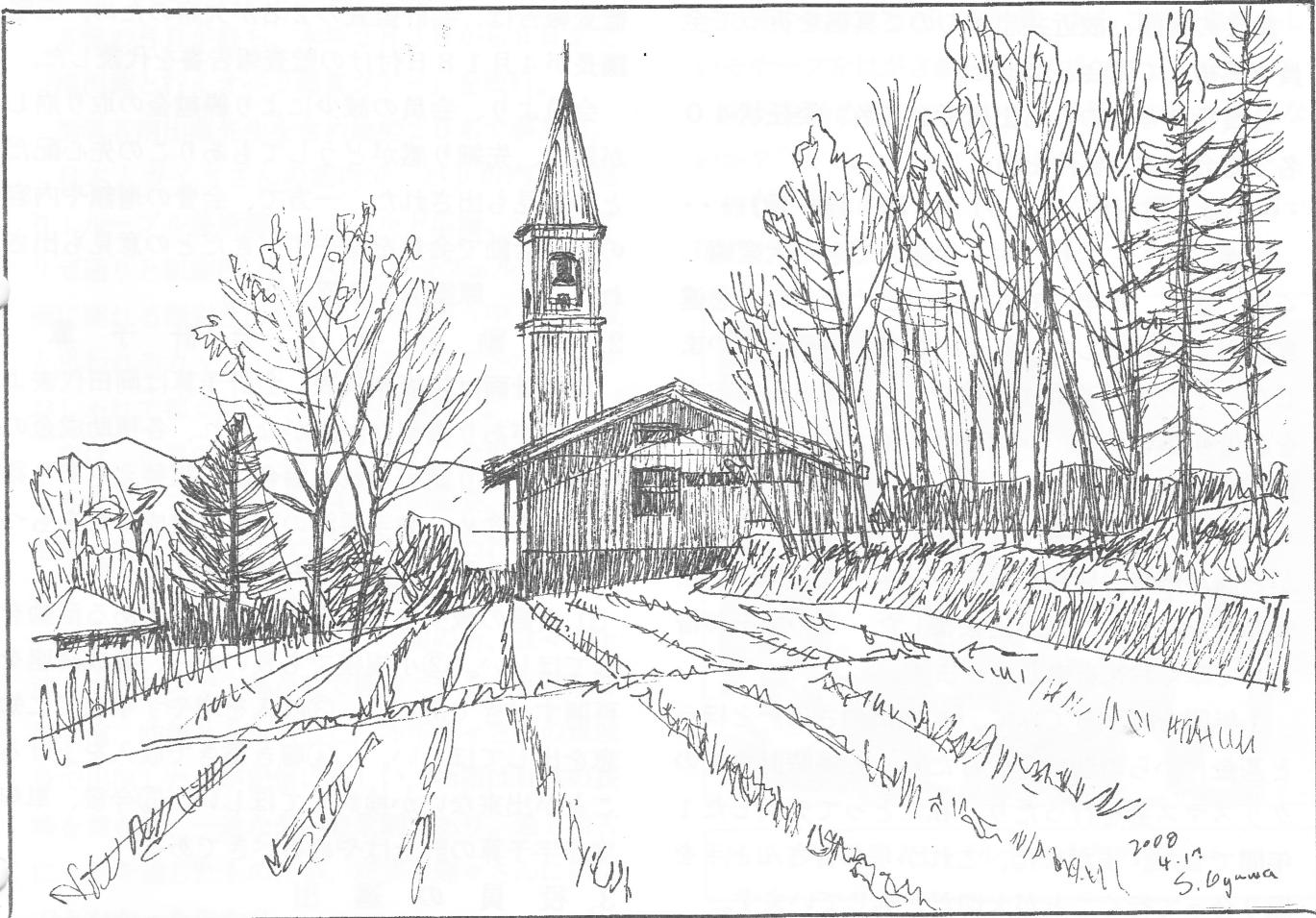
健康生きがいづくり
アドバイザー
北海道協議会

発行責任者

堀田幸男

題字 会員 塚本久二子（札幌市）

北の火アリ



《美馬牛小学校：美瑛町》 小川智（公募白日会会友）

健 康・い き が い

『御輿作りで職人の生きがいを』

net 北みらい 川村 隆

大正7年、建具職人の父が石川県から旭川で建具製作所を開業し、その後住宅の設計施工も行ってきました。当時の住宅は和風建築でしたから、建具職人たちは本場の京都や奈良、高山などの建物を見て歩き、勉強し、大工職人の育成をしてきました。

その職人達も今は60歳以上、住宅の洋風化

等により職人技術を發揮できる場面が少なく、若手の職人への実践教育の場もなくなってきた。昨年創業90周年にあわせて、夏祭りに御輿を借りて全社員で担ぎました。そのときに、来年はこの御輿を自分たちで作って職人達の技術の伝承と、匠の技を残そうということになりました。

今年の2月から樹齢五百年以上の檜材を集め御輿作りを始め、6月には魂を入れて完成です。

職人達の技術と思いが檜の樹齢と同様に五百

年後まで担ぎ続けられることを願っています。

平成21年度

定期総会 報告

日 時 平成21年5月23日

代表に 岡田朋子さんを再選

組織の活性化と財政の健全化を

総会の冒頭、故近井忠さんのご冥福を祈って全員で黙祷して開会となった。

会員数94名のうち出席者28名、委任状40名で総会の成立要件を満たした。

…岡田代表の挨拶(要旨)…

皆様、お久しぶりです。お逢いできて大変嬉しく思います。昨年、石井代表が亡くなられ、急遽私が引き受けまして、気づいたら1年経っていました。その間、不慣れな者ですから皆さんのお力を借りしながら、「何とか通り過ぎたかなー」と言うのが実感です。

至らないことも多く、これからどうしてよいのかと悩んだ時、皆様からそっと手を差し伸べて頂き今日を迎えることが出来ました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

1年間を終わってみて、「札幌市のさぼーとほつと基金」からの助成を受けたり、札幌時計台でのクリスマス会を行ったり、私にとって充実した1年間でした。まだまだ、これからも皆さんと手を取り合って行くことが大切だと感じています。

会員が高齢化に向かっておりますが、その中で会員同志の仲間作りが必要と思っています。

仲間同士が触れ合うことによって、楽しい健生にしてゆきたいと思います。「遠い親戚よりも、近い仲間ですよね」

今日は、皆様が日頃感じている「こんな風にしたら良いのではないか」などのご意見を頂き、今年1年楽しい健生でありたいと考えています。皆様のご協力を得ながら実り多い総会に致したいと思います。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

続いて、議長には三宅洋一、書記には渡邊一栄 齋藤克恵、議事録署名人には長谷川竹二郎 宮岸

場所 札幌市 かでる 2・7

和子の各氏を選出して、議事が進められた。

1. 報告事項

活動報告については相坂副代表、会計報告については秤谷会計担当より詳細に説明があり、会計監査報告は、会計監査の2名が欠席のため。三宅議長が4月18日付けの監査報告書を代読した。

会員より、会員の減少により繰越金の取り崩しが続き、先細り感がどうしてもありこの先心配などの意見も出された、一方で、会費の増額や内容のある活動で会員を増やすべきとの意見も出された。原案通り承認された。

2. 活動計画と会計予算

活動計画は相坂副代表、会計予算は岡田代表より説明があり真剣な討議がなされ、各種助成金の申請中であり認可された場合は、組替えもあり得ることも含め、挙手採決の結果、賛成多数をもつて原案通り承認された。主な意見は次の通り。

- ① 会員の減少を食いとめるべく魅力ある活動をしてほしい。
- ② 小規模でも良いから、養成講座を再開すべきである。
- ③ 収入を増やす手立てに知恵を出してほしい。
- ④ 聴き書きで収入を上げることが出来ないか検討してほしい。
- ⑤ 今後、単年度赤字予算の計上はやめるべきである。

3. 役員の選出

副代表の相坂さんが退任され、新しく三宅さんが副代表に、会計監査は岡部さんが退任され、相坂さんが就任し次の通り選出された(敬称略)

☆代表 岡田朋子(再)

☆副代表 嘉指 肇(再) 三宅洋一(新)

☆事務局長 選出は代表に一任する

(6月2日の役員会で渡邊一栄を選出する)

☆会計監査 相坂誠一郎(新) 千葉よう子(再)
会計に富川美代子 事務局に佐藤良子・北山公子

(6月2日の役員会で広報担当に斎藤克恵)

詳細は、同封の議事録をお読みください

(報告 堀田幸男)



オペラ旅行記



札幌 大西 信子

合唱団『コール・ブリランテ』は会員27名中健生アドバイザー9名。発足当初からの目標、“海外に行って歌おう”を楽しみに活動して来た。

5年の月日が経ち、本年3月3日から9日まで「南出薰と行くオペラ鑑賞ツアーワー」を敢行。

指導者南出薰先生を含め総勢20名で夢実現。

日本人ガイドさんの案内で、パリ市内名所巡り：ルーブル美術館、コンコルド広場、シャンゼリゼ通りと凱旋門、セーヌ川、エッフェル塔、等々雨に濡れる無彩色の建造物が情緒漂う中、老夫婦と思われるカップルが腕を組み、鮮やかな洋服がおしゃれで都会的だったのが印象深い。

夜は、世界のオペラ座へと早めに会場入り。

みなドレスアップで、4名の和服姿。和服は現地の人気を誇るモテモテムード。乞われてカメラのツーショットにもニッコリ微笑む。

鑑賞のオペラ「蝶々夫人」は実の所、我々も上演しているので字幕なしで理解できる。2004年初演、昨年8月再演した。昨年蝶々さんの親戚役で出演したのが記憶に新しい。物語は日本の長崎を舞台に、一途な愛の悲歌劇であり、通し稽古にも涙を流したものだが、洋装の蝶々さんに同情できなかったのか？

結婚式、花嫁衣裳・舞妓等豪華絢爛な和服一色の我々の舞台は素晴らしいと改めて感じた。

3泊のパリを後に、空路バルセロナへ、うつて変わって青空の下、どこも石材での歴史的建造物が建ち並び、彫刻がほどこされ、目の当たりにした瞬間は、息が止まるほどのショックを受けた。

路地を散策すると、街頭では大道芸や青空市、裏道に入ると、石畳の上でゆっくり時間が流れる空間を感じるように奏でる音楽が響いている。

夜は、ワインを片手にフラメンコライブショー。ギターの調べに激しい手拍子で踊る。私の心も一緒に躍る。翌朝、ホテルの裏手の丘から、地中海

に昇る日の出を拝み、健康に感謝。バルセロナのホテルで開いた我々コーラスのミニミニコンサートも忘れられない思い出の1ページになった。

これまで海外には全く無関心で、パスポートを取ることから始まった旅ながら、想像以上の素晴らしさに興奮し、心に新たな光が差し込んでしまった今、また行きたい！！。これほど安心、安全で治安の良い北海道を脱出する勇気と少しの会話、スーパーで買い物できるだけの計算、あちこちの素晴らしいモチーフをはがき絵に出来たら。。。

何かを始めるのに遅すぎる季節はないのではないか？

旅立ちの前のワクワクと、ロマンを想いパスポートの出番を待ちましょう。



H21年3月7日バルセロナ市内観光



パリジェンヌに乞われて、着物は人気です

新 会 員 紹 介 コ ー ナ 一

★～ご あ い さ つ～★

札幌 竹原 一孝

健康生きがいづくりアドバイザーの資格を取得して3年が経とうとしています。平成18年7月、富士吉田市の研修所で延べ4日間の資格認定研修を受け、全国の仲間たちと(51期生「アンビシャス51」と命名)交流を深めたことが懐かしく感じられます。

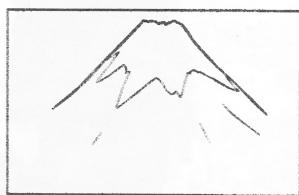
札幌では、早速同期の18人の仲間たちと「おはこ会」を結成して、北海道健生会の一群グループ的イメージを持ちながら、地域活動の実践を目指してきました。

「しゃべり場チャット」と銘打った活動を中心一般に呼びかけを行い、これまで数回の開催にこぎつけております。

18人の仲間たちは、全国健康生きがい財団、健生北海道に加入・未加入を含めていろいろな状況ですが、われわれにできる活動を見極め、また、そのノウハウの会得を目指して取り組んできております。

これまでの活動経過をさらに発展的に考えたいとの思いを強め、今年度、遅ればせではあります入会申し込みをさせていただきました。

これまでの「おはこ会」の活動を継続しながら、健生北海道の一員として多様な活動を目指したいと考えております。熟年者のエネルギー結集をもくろんでおりますが、皆様のご指導をお願い・期待をしながら入会のご挨拶といたします。



★～入 会 へ の 思 い～★

札幌 谷口 由美子

札幌での一次研修が平成十八年であったため現在『十八番会』メンバーとして活動しています。

自分の仕事と全く切り離した何かを健生アドバイザーの資格を生かしてやりたい！！！そう思って臨んだ割には、その何かをつかめなくて初めは困りました。

『十八番会』として一步を踏み出しました仲間は数名ですが、今は私にとって大きなものになっています。そして、考え方も変わってきた。

私達健康生きがいづくりアドバイザーは、それぞれの方にとって生きがいを創造していくことを支援している。かつ自分が成長させて頂いている。

だったら自分の仕事にアドバイザーの資格を生かして社会にお返しえば、少しは健康生きがいづくりアドバイザーラしくなるのかもしれませんと・・・。

私は歯科衛生士として老人と向き合っています。

口腔機能の維持向上も定着してきていて、今は認知症の研修が多く、全身と“くち”を支える食の問題まで広範囲です。

健生アドバイザーの資格を正か負かどちらかの方向へ意義を見出せるか・・・は負にしたくない自分がいてその思いをもって先輩達がたくさんいる会に入会しました。

まだ認知度の低い健生アドバイザーの名刺を差し出せる事も私の思いに入っています。

皆様と一緒に動き出したいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



りますので皆様よろしくお願ひいたします。最後に健生に対する私の思いを述べたいと思います。

一言で言いますと会報の「北の灯り」の言葉に象徴されるように自ら自分自身で灯りをともすことによって共感の明るさが広まっていくものと考えます。健康生きがいづくりアドバイザー資格を生かすも殺すも各自の行動に掛かっていると考えます。相田みつおさんのことばに「アノネ がんばんなくてもいいから具体的に動くことだね」があります。限りある人生、行動を起こし健生北海道の更なる発展に向け汗をかいてみましょう。

挨拶の言葉とします。

事務局長 三岩澄子(退任)



思い起こせば2年前の総会で役員が1人もいない事態に遭遇し、複雑な思いと情けなさを覚えたことを思い出します。

多少感傷的にもなっていた私は「アッテね43の会」の故石井政治さんを説得し私が補佐をするというお約束で会の存続の橋渡しをしようと誓い合いました。

故石井さんは就任早々会の少しでも長い存続を願い事務所移転を決断されました。説明会に同席した私にはその切ない思いが伝わってきて改めて深謝の念で胸が熱くなったことを忘れるることは出来ません。

その後、総会開催準備を終え「後は頼むよ」を最後の言葉に翌日お遍路参りに旅立たれ「これからは会員の総力で」とばかりに総会開催を待たずして他界されました。

この度、会の存続を考え果たすべき能力の貧しさを実感し退任を決断いたしました。

役員はじめ会員の皆様のご厚意に対しこの場をお借りして心からのお礼を申し上げます。

「本当にありがとうございました」



会計監査 岡部二朗(退任)



この度、私の事情により会計監査役(2年間)を退任致しました。

短期間の任期でしたので特にこの間の感想は思い付ませんが、たゞこれからは健生のような小規模組織の監査が単に会計サイドだけでなく、益々少なくなる財源をどんな活動に効率良く使用するか等の業務監査サイドの視点の必要性を感じたこともあります。

引き続き運営委員として残りますので、よろしくお願いします

事務局長 渡邊一栄(新任)



平成15年に「健康生きがいづくりアドバイザー」の資格取得直後から三年間、さっぽろ村ラジオ局の「生きがい応援団」のパーソナリティーとして、健生の活動に参加させていただいたことを思い出しました。

柚木はるかさんと郷原真知子さんと3人で「わたなべかずえといい女チーム」と銘打って、楽しい時間を過ごすことができました。声を頼りにゲストの素晴らしさを聴き、皆様にどうお伝えしていくかをいつも考えていました。演出してくださったゲストお一人お一人の深いお話を伺い、健生ってすごい人の集まりという事を感じました。

今年度は事務局長としてお世話になります。事務局員として、佐藤よし子さん、北山公子さん、富川美代子さん(会計)、うさごと斎藤克恵さん(広報)がサポートしてくださいますので、大変心強く思っております。有能な健生の皆様がさらに輝き、また楽しく笑顔で活動できるように「事務局!わたなべかずえといい女チーム」を再結成して、少しでもお役に立てればと思っております。私のモットーは「楽しく、おしゃれ心を持って」です。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

新・旧役員挨拶

代表 岡田朋子（再任）



21年度総会において代表に再任されました岡田でございます。昨年亡くなられた石井前会長のあとを急遽引継ぎ1年が過ぎました。

その間皆様のご芳情、ご支援を賜りながらお札幌市の「さぽーとほっと基金」からの助成金を受け「ふれあい聴き書きボランティア養成講座」や札幌市市民活動センターとの協働によるディスコンの開催・みんなで楽しんで元気になろうと札幌時計台でのクリスマス会などを行いました。

総会では皆さんより様々な意見を頂戴しました。なかでも会員数が減少して繰越金が取り崩されてこの先が心配だと意見をもらい健生に対する思いを感じ、心強く思いました。

昨年、石井前会長が健生庵からエルプラザに移転を決意したのもその為です。現在事業を行う為の助成金の申請中であります。

総会での皆様のご意見を参考に新役員体制で組織の活性化・財政の健全化に取り組みたいと思います。

今年度は

- 1、会員の高齢化に伴い会員の新たな仲間作りに取り組みます。
- 2、昨年に続き「ふれあい聴き書きボランティア養成講座」事業を行います。

人の人生にはドラマがあります。そのなかの「私を変えた出会いやできごと」「私の一番〇〇だった話」にスポットをあてた、話し手と聴き手のふれあいは非常に有意義で、元気を与えてくれます。

一年間、地域の高齢者とふれあい、生きがいづくりを支援し、「生きがい史」を作成するボランティア養成事業を行います。その中で健生の活動を理解する人材を養成し、会員の増加に努めたいと思います。昨年はスタートラインにたちました。

今年度は受講生がサークル「聴き書き隊いい友」を結成し歩きはじめます。まだまだよちよち歩きです。皆様の身近な方で「世界で一冊の生きがい史を作りたい」という方がいらしたらご是非紹介してください。よろしくお願ひいたします。

微力ではございますが、楽しい仲間のいる魅力ある健生にするため努力いたしますので、今後とも皆様の支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副代表 三宅洋一（新任）



この度、副代表になりました。このような名誉ある職に就きましたが、私は、強いリーダーシップの中で、提案や協力をお願いすることは苦手です。また個性あふれ、素晴らしい生き方を持った皆様にそれをすることは非常に難しいことです。私のできることは、縁の下の力もちとして健生の方々のご意見やしたいことを新執行部に反映させ実現させるお手伝いをすることと考えております。

会員の中から何かをしたいという強い気持ち湧かないと活気ある健生になりません。健生もメンバーが減り、組織が弱体化してきましたが、大きく変化をするエネルギーは、まだ充分残されていると思います。まず、気楽な気持ちでお互い仲間づくりをし、楽しい時間を過ごし、この仲間と何かしたいという気持ちが出ればエネルギーになると 생각ています。私はコミュニケーションや気配りも苦手ですが、良き人生の先輩や仲間がいる健生が好きなので、会員として何かお手伝いができれば幸いです。

副代表 相坂誠一郎（退任）

会計監査 相坂誠一郎（新任）

今回副代表を辞し、会計監査役になりました。



副代表在籍中は皆様のご協力を得て勤めあげることが出来ました。この紙面をお借りいたしましてお礼申し上げます。

さて、新たに会計監査役となり別の角度から健生を応援していきたいと考えてお

健生★おはこ会便り

★シニアのしゃべり場「ちゃっと」開催! —「おはこ会」のイベント始動!—

健生おはこ会会長 竹原一孝

4月 19 日(日)14:00~16:00
「エルプラザ(N8W3)」において、
平成 21 年度第 1 回目の開催をいたしました。参加者数は 41 名(スタッフ関係 11 名含)および会場もはちきれんばかりの盛況でした。

女性が 7 割を占め、男性にとっては目じりの下がる一時となりましたが、いつものようにお茶とお菓子をいただきながら、おしゃべりを中心につきには手話と歌のコラボレーションを織り交ぜ、締めくくりに「生きがい数え歌」唄ってあつという間の 2 時間を過ごし散会しました。

初めての参加者も多く、一人暮らしの方、ご夫婦でこられた方、札幌市近郊からの方など、いろんな方たちとの交流がかない楽しんでいただきました。この時間では物足りず、場所を替えて交流を深めた方たちもいたとか・・・。

帰りに、アンケートもお願いしましたところ、今後も継続して参加したいとの声をたくさんいただき、なかにはもっと回数を多くしてほしい、アウトドア開催の要望など多くのご意見をいただきました。

次回は、7月 12 日(日)14:00~16:00「エルプラザ工芸室」で計画をしております。さらに充実した内容にしたいと思っておりますので、関心のある方はぜひご参加ください。

連絡先は 090-6262-0314(担当:川村)

★認知症!? そのときあなたは… —脳ストレッチは大好評でした!—

健生おはこ事務局広報 斎藤克恵

3月 29 日北海道立市民活動促進センターの市民協働企画として「認知症サポーター養成講座」を開催しました。30名でいっぱいの会場に 43 人という熱気で大好評でした。

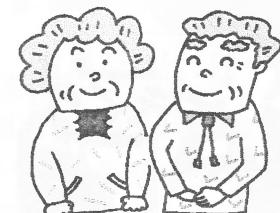
これは認知症の人とその家族の応援者である認知症サポーターを全国で 100 万人養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指そうというもので、札幌市のキャラバン・メイトである姉崎さんを講師に認知症の基本を学びました。

また後半は脳ストレッチとしてメディカル・フィットネス協会研究員の高坂聖美さんを講師にみんなで体を動かして、有酸素運動を取り入れたストレッチなどをを行い、楽しく学べて頭と体がすっきりという有意義な時間となりました。

●今日、誰かとお話ししましたか?
大きな声で笑いましたか?

しゃべり場 ちゃと

おしゃべりは健康のもと。
美味しいお茶を飲みながら
楽しく語り合いましょう!



4月 19 日(日)

時間: 午後 14 時~16 時
会場: エルプラザ公共施設 3 階工芸室
(札幌市北区北 8 条西 3 丁目)

参加費: 500 円(茶菓代含む)

対象年齢はおおむね
60 歳以上の方

主 催: 健康生きがいづくりアドバイザー・十八番(おはこ)会
問い合わせ・申し込み: 090-6262-0314(担当: おはこ会・川村)



認知症!? そのとき あなたは…

認知症サポーター養成講座&ボケないための脳ストレッチ



●「認知症サポーター養成講座」 認知症への知識と理解、サポートの仕方を学ぶ
講師: 姉崎 重信さん(札幌市・認知症派遣講師キャラバン・メイト)

●「ボケないための脳ストレッチ」 有酸素運動を取り入れたストレッチの方法など
講師: 高坂 聖美さん(メディカル・フィットネス協会研究員)

とき: 3月 29 日(日)13:00~16:00

ところ: 北海道立市民活動促進センター

(札幌市中央区北 3 西 7 道庁西別館 TEL 011-261-4440)

定員: 30 名 参加料: 無料

主 催: 北海道立市民活動促進センター
実施団体: 健康生きがいづくりアドバイザー・おはこ会
申込・問い合わせ: 011-261-4440(小林) 携帯 090-3898-4696(おはこ会・斎藤)

地域に生きる

札幌市 澄谷 妙子

春風に誘われ、4月の第2土曜日、地下鉄月寒中央駅近くの美晴幼稚園を訪ねました。玄関には『つきくらネット』と書かれた手作りの看板、可愛い下駄箱と懐かしい匂いに、ワクワクしました。つきさむくらしネットワークの会場です。2階ホールに上ると、受付は沢山の人ばかりです。



代表の澄谷妙子さんが「今日は、この会の4年目の誕生日です。地域で助け合い、高齢者の災害を防ぎ、健康で豊かな暮らし作りを目指して、沢山の方々の協力で今まで続けてこれました。」と挨拶され、参加者45名の集会が始まりました。

第1回目の講師、健生の長谷川竹二郎さんが、『健康！・安全！・幸せ～』の合言葉で祝福され、すぐに和やかな雰囲気に包まれました。



次回（5月）の講師、菅原さんはデモンストレーションとしてマジックを披露してくれました。テンポの速さに圧倒され、巧みな話術とテクニックには驚くばかりです。

今回のテーマは『笑顔の花を咲かせましょう』講師は32年カウンセラーをしていらっしゃる宮崎順一さんです。とても柔軟な笑顔で、～笑顔で生活していますか？～と聞かれ、毎日の暮らしの中で、笑顔の自分を振り返ってみたり、初対面の方と2人組みになって笑顔で関係を築くコミュニケーションを体験学習しました。笑顔がこれほど奥深く、お互いの心とこころをつなぐ不思議な力があることを実



感しました。素敵な笑顔を身につけて周囲を明るく、元気にする実践で、会場は笑い声で、一足早いお花見のような華やかさでした。

澄谷さんは看護師の経験から、お年寄りが病気などで地域で生活することが困難になる現実を何度も見てきました。まず、自分達が老後を過ごす地域の仲間作りから始めようと、健康づくりサロンを立ち上げました。タイミングよく健生の養成講座が開講され、そこでも目的を同じくする仲間との出会いがありました。これまでに何度か講師をお願いしているそうです。当日も上野さん、杉谷さん、渡邊さんと仲間の顔が見えて心強くなりました。

町内に住む85歳のご婦人は「老人クラブから、こちらに移りました。毎回おもしろい催しがあるので来るのが楽しみです。」とお若い笑顔で教えてくれました。ご近所の方は「澄谷さんの趣旨に賛同してお手伝いをしています。担当も決まっているんですよ！」と輝いた笑顔で話され、生きがいを見つけられたようです。

休憩時間にお祝いの紅白饅頭が配られ、お茶を飲んでいると、ピアノの生演奏が流れてきました。プロのピアノ演奏家をリタイアされた男性がさりげなく弾いてくださっていました。優雅でなんと贅沢なことでしょう。

「3年間があつたという間に過ぎた」とおっしゃいます。少しずつ組織化てきて運営委員が20名になり、役割分担をして積極的に協力し合っています。「必ずしていることは参加者に毎回お電話をして、安否の確認や声掛けをすること。」さらりとおっしゃいましたが、とても大変なことだと思います。モットーは『生きがいは人生を育てる！』だそうです。澄谷さんの暖かいエネルギーが地域の人々を動かし、自然体でお互い様の心で支えあい、助け合う活動になっていました。最後に、準備から写真撮り、後片付けまで、ご主人の縁の下の力持ち的存在が、大きな支えになっている様に見えました。

（取材 荒井・中島 撮影 川村）

ふれあい

聴き書きボランティア講座

手作り製本＆修了式・報告

本年 1 月より始まった「ふれあい聴き書きボランティア養成講座」は「世界でたった一冊の生きがい史作り」を通した地域とのふれあい、社会貢献に寄与しようという試みです。

「傾聴」「健生メンバーの生きがいトーク」「文章・編集講座」を終え、2 月からは 7 つのグループに分かれて実際の聞きとりと編集作業を行い、3 月中旬印刷～20 日製本作業、28 日に修了式を行いました。

札幌市のさぼーとほっと助成基金事業として開催されたこの講座。後半は健生メンバーをリーダーに各グループ 6 名～7 名で聴き書きの実習を行いました。聞きとりの回数は平均 3 ～ 4 回。校正作業もそれぞれで行い、最終的に文章講座の山口先生にみていただき、印刷にこぎつけるなど、自分たちで

苦労しながら一連の作業を体験しました。

20 日の製本作業は、製本サークル「紙魚の会」の 3 人を講師にエルプラザの工芸室で開催。穴あけ、糸かがり、糊入れ、表紙つけ…と 1 冊づつ手作りで製本。本が完成すると喜びもひとしおでした。

完成祝として開催された 28 日の修了式では、健

生北海道より修了証を授与。フラダンスや南京玉すだれなどの余興もあり、楽しい交流のひとときとなりました。

その後、講座修了生は一期生有志で「聴き書き隊いいとも」を結成。地域での実践にむけ、自主的な学習会などを始めています。（報告・斎藤克恵）



役員会・運営委員会だより 第1回（6月2日レ・プラザ）議題「新年度事業」ほか

1. 新事務局長について

総会時、決定せず代表一任となった事務局長ならびに事務局メンバーが決定した。

事務局長：渡邊一栄

事務局員：佐藤よしこ 北山公子

富川美代子（会計）

事務局広報担当：斎藤克恵

2. 総会資料の送付

①議事録と会計予算案（変更あったため）を 6 月 10 日発送の会報に同封

②会員名簿は変更および入・退会のチェック終了後、会報に同封予定

3. メーリングリストについて

事務局長引継ぎにかかるメーリングリストの管理は新事務局長の渡邊が行う。

4. 総会を終えて今年度の活動計画について

①研修会

内容：「認知症サポーター養成講座・ボケないための脳ストレッチ（仮題）」。8 月上旬予定（聞き書き養成講座の前に計画）

②「ちえりあフェスティバル」について

日程：8 月 22 日（土）・23 日（日）

「ちえりあ」事務局からの連絡待ちとする。

③「ふれあい聴き書きボランティア事業」

聞き書き部、役員会にて承認される

養成講座：8 月～11 月

*傾聴講座、文章講座を計画

④健康生きがいづくりアドバイザー養成講座

開催予定で検討中

⑤チャリティー新春お楽しみ会

クリスマスお楽しみ会の予定であったが、会場の確保が難しいため、新年に行う。

⑥健生新年会

クリスマスお楽しみ会を新年に開催するため、従来の新年会を今年度は「健生クリスマス会」とする。担当幹事は健生 39 期生。

5. 今年度の課題

会員増に向けて

* 地域別に交流会を行う

* 「飲み会」を計画してはどうか

6. その他

①杉谷さんの「七夕大人の遠足」名義後援受託

②電話サービス・・・ボイスワーク

事務ブース不在時の転送サービス開始

富川さん、渡邊に転送

財団からのお知らせ

(財) 健生・生きがい開発財団 藤村 宣之

財団では21年度事業として、全国10カ所で「団塊世代の地域再生ボランティア養成口座」を実施することとなりました。

北海道でも開催します。

この口座のねらいは、地域の再生が叫ばれる中で、地域における大きな資産ともいえる団塊世代の方々に、地域コミュニティ再生の担い手(ボランティア)となってもらおうというものです。

団塊の世代の方々の参加、及びその呼びかけなど、是非、ご支援、ご協力をお願いします。

~初夏です。出かけてみましょう!!~

各部の予定

申込み・詳細は担当にお尋ねください。

☆健生学習会: 毎月第2金曜日 18時30分

場所: Lプラザ2F 担当 長沢 011-665-5588

6月12日: エンディングノートについて

講師 板垣 隆氏

7月10日: テーマ未定 8月はお休みです

☆華うたクラブ: 月1回日曜日 10時

場所: 中央区第一グリーンビル4F「れい子の店」

担当 渡邊 090-9085-7751 練習日未定

会費: 5000円÷参加人数

6月21日 7月8月は練習日未定です。

皆さんで翌月の練習日を決めます。

☆健生玉すだれ同好会: 每月第4土曜日 13時

場所: 社会福祉総合センター1F

担当 家守 011-664-2859

☆健生フラダンス同好会

毎月第1・3木曜日 14時

場所: 手稲みずほビル4F 担当木野 011-695-5037

会費: 500円 通年(茶菓子・掃除・暖房費等)

☆オカリナ「ブリエール」

: 毎月1回 土曜日 11時~13時(変更あり)

場所: 札幌イーヤス店 白石区東札幌3条1丁目

6月20日・7月18日

8月は休み未定 担当 斎藤 011-709-0224

表紙に寄せて

『美馬牛小学校: 美瑛町』

小川 智

美瑛町の丘陵の中にポツンと建つ三角屋根、これが小学校である。

畑と雜木林に囲まれて、チロル地方のようないい感じです。

鐘楼には鐘までぶら下がっていますが、制作中に鳴ったのは聞けませんでした。

単なるお飾りなのかもしれません。

以前、南仏の旅で回った田舎町ではしおちゅう時を告げて鳴り響いていたのを思い出しました。

バブル以前の日本経済の好況期にはこのような箱物が、各地に競って建てられたのです。

今は、当事の箱物の維持に窮々として、廃止または売却といった時代です。

この学校で、学童たちは健やかに育っているのでしょうか。

ヨーロッパ風の田園風景が人気の美瑛町の観光スポットとして、教育の場以外の役目も担っているのかもしれません。

編集後記

眩いばかりの新緑に包まれ生まれ変わろうとしている若木、41号の会報もそんな息吹を感じる。

いつもながら原稿依頼、編集、印刷と一連を無事にこなし、ほっとした気分になる。誰の原稿が息吹を伝えてくれるのか?

編集をしながら、ふとそんなことを考える。

総会も終え、新しいスタートを切ったばかりである。志を共にする仲間がここに集まる。

『北の灯り』が益々成長して止まない。

そんな願いを祈りつつ編集後記を記す。

(記 竹心)



【事務所所在地・連絡先】

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目

エルプラザ内 事務ベース11

健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会

(電話・FAX) 011-807-5889

【現在会員数】 5月23日付

○正会員 94名	○一般会員 9名
合計 103名	